

豊作願い田植え始まる

新ひだかで 寒い日続くも苗生育順調

【新ひだか】遅咲きのサマ。今年は寒い日が
 クラが咲き誇る中、水稲 続いたが、苗の生育は順
 農家が集中している静内 調。各農家では今年も豊
 豊畑地区では田植えが始 作を期待している。

静内豊畑は米どころ
 で、好天と気温の上昇
 を待つ田植えを開始
 14畝の水田を持つ豊穂

（日蔭由昭代表、16人）
 は18日から田植えを始
 めた。
 農業法人の豊穂はこの
 地区で最も多くの水田を
 持っており、「ゆめびり
 か」と「ななつぼし」を
 栽培。

食味数値の高かった米
 の生産者を静内稲作振興
 会が表彰する米共助会で
 優秀賞を毎年受賞してい
 る。

田植えをする日蔭代表＝18日午前＝

昨年の静内稲作振興会
 の静内玄米ばら集出荷施
 設での実績は、出荷契約
 数量の4372俵を上回
 る5795・5俵、規格
 外470俵の出荷実績。
 同振興会副会長の日蔭代
 表（67）は「気温が低
 かった割には苗の出来は
 良い」と話している。
 豊穂の水田の田植えは
 天候にもよるが、1週間
 ほどで終了するという。
 秋の収穫まで順調な天候
 を願いながら、各農家で
 盛んに田植え作業が行わ
 れる。

